



資産運用こぼれ話 「お金と心」

200パーセントのしあわせ持ちになれるシンプルな生き方

寄稿：岡本 和久



久しぶりに本を書きました。共著本を除くと二年ぶりの本です。齢(よわい)70を超えたとき、これからは本をどんどん出すのをやめて何年間に一冊、本当に書きたいことだけを書くことにしようと決めました。

大それた話ですが、アメリカの「敗者のゲーム」や「ウォール街のランダム・ウォーカー」のように数年に一度、改訂版を出すというのが私の理想です。夢のような話ですが、何年かに一度ずつ「お金と心」の改訂版をだしていければと願っています。

人生の目的はお金持ちになることではありません。また、出世することでもなく、権力を持つことでもありません。しあわせ持ちになることこそ人生の目的です。しあわせ持ちの六つの「富」はお金、健康、家族、友人、趣味、社会貢献です。つまり、お金はしあわせ持ちになるための大切な一つの要素ではありますが、お金がなければ幸せになれないというものではありません。

ところで私は90年代の初めから瞑想をしています。私が実践している超越瞑想(TM)は宗教とはまったく関係のない「心を扱う技術」です。私が感じる瞑想の効果は意識の時空を広げるということです。みんな、「自分・いま」という小さな箱のなかに閉じこもっています。しかし、瞑想を続けることで自然に世の中の事、ずっと未来の事にまで意識が及ぶようになります。それにより人生の質がずっとよくなります。

お金のことを考えると我々の生活が世界中の企業によって支えられていることに気づきます。投資とは時間をどう使うかということです。どう時間を使うかということはどう生きるかということです。つまり、お金と投資のことを深く考えると「ご縁のネットワークのなかでどう生きるべきか」という気づきを与えてくれます。これは瞑想による意識の拡大を加速してくれる効果があります。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

そして意識が拡大するほどに迷わずに人生を通じての資産運用を無理なく続けることができるのです。空間軸の拡大はグローバルな分散投資を、時間軸の拡大は長期積立投資を心に負担をかけずに実行できます。

海の表面は荒波です。しかし、深海の潮流は力強く落ち着いた流れです。同じように株式市場で日々、株価が大きく変動しているのは表面の荒波のようなもの。グローバルに分散された長期積立ポートフォリオは深海の潮流のようなものです。

同じように我々の周りで日々発生するストレスも表面の荒波です。瞑想で意識が拡大し、深海の潮流に錨を下ろすようになれば心が騒がしく揺れることはないのです。日々のストレスにも、短期的な株価の変動にも動じない生活や投資ができるのです。

お金や投資の本当の知識は瞑想による意識の拡大効果を強化し、それにより生活もリラックスしたものとなり、将来のための資金形成も無理なくできるようになるのです。つまり、物心両面での200パーセントのしあわせ持ちになれるのです。興味のある方は是非、ご一読ください。2月10日には出版記念講演会を東京で行います。また、その後、各地で同様のテーマでのお話しをさせていただく予定です。

目次

はじめに

第1章 学びの時代～お金の基礎知識を得る

第2章 働きの時代～将来のための資産運用をする

第3章 瞑想でつかむ200パーセントの人生

第4章 私の人生と瞑想

第5章 遊びの時代～「しあわせ持ち」へのロードマップ

おわりに



お金と心—200パーセントのしあわせ持ちになれる シンプルな生き方

岡本 和久 著、発行:知玄舎／発売:星雲社、定価:【本体 1,400 円】 + 税

「岡本和久新著出版記念講演会」のイベントページの URL は下記になります。

<https://kokucheese.com/event/index/547723/>